

2010年(平成22年)1月20日発行
平成22年 新年号(第21号)

隠岐の島町

議会だより

今年こそ良い年となりますように!!



も く じ

- 年頭のあいさつ・・・・・・・・・・P 2
- 12月定例会補正予算・条例など・・P 3～P 4
- 総括質疑・・・・・・・・・・P 5～P 6
- 一 般 質 問・・・・・・・・・・P 7～P 11
- 各常任委員会・・・・・・・・・・P 12～P 13
- 特別委員会・広域連合議会・・・・・P 14～P 15
- 陳情など・・・・・・・・・・P 16

年頭のあいさつ



隠岐の島町議会
議長 米澤 壽重



新年明けましておめでとうございます。
町民の皆様方におかれましては清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年8月の総選挙では歴史的ともいえる政権交代が行われ、民主党を中心とした連立政権がスタートいたしました。このように国政が転機を迎える中、隠岐の島町では今日までに様々な社会資本の整備が行われてきたものの現状は依然として厳しく、あらゆる分野において本土との格差は著しくなっております。その対応に苦慮しているところであります。

また、隠岐航路・空路の維持対策や医師不足対策、少子高齢化による過疎化などの深刻な課題も抱えております。更には、一昨年のアメリカの金融危機に端を発した世界同時不況により、我が国の経済にも大きな影響を及ぼし、離島・中山間地を中心に雇用や経済状況はますます低迷し厳しさを増してきています。

このような状況の中で、外洋離島である本町は、国土・海洋の保全をはじめ、海洋資源の確保など、国家的役割を自覚しなければなりません。今こそ、島のもつ重要性を認識しながら地場産業の振興や新たな産業創出に力を注ぎ、雇用の場を確保し、自立した経済の基盤づくりに最大限の努力を尽くす必要があります。

議会においても、新しい時代にふさわしい開かれた活力ある議会を目指し、更なる活性化を図ってまいります。その上で、町民の皆様方のご期待に沿うよう執行機関との連携を強化しながら、決意も新たに全力を尽くす所存でございます。

町民の皆様方の御多幸をお祈りするとともに、本年も相変わらぬ御支援と御協力をお願い申し上げ新年のごあいさつといたします。



今年もよろしくお願い申し上げます

12月定例会 議会最終日まで混乱！ ―反省しない町執行部―



補正予算の概要

主な歳入

■地方交付税を
3400万円増額
今年の地方交付税は、
総額71億2400万円が
交付決定。今回の補正で
予算計上分は69億526
0万円となり約1億70
00万円余を手元に保留
している。

■国県の負担金・補助金

1256万円増額
地域活性化や経済危機
対策臨時交付金や各事業
補助金が増額する一方で
国の事業見直しで中止と
なった子育て応援特別手
当などが減額。



■負担金・使用料

諸収入など
522万円増額
保育料、ごみ処理手数
料、スポーツ振興くじ助
成金などが増額。

■町債(借金)を

2700万円増額
隠岐病院の医療機器整
備や、あいランドパーク
テニスコート整備のため
増額。

主な歳出

◆障がい者福祉事業に
2240万円増額
障がい者支援のための
国の単価改正とサービス
利用者の増加による増額。

◆私立保育所運営費に
1466万円増額
私立保育所への入所児
童数の増加などによる増
額。

◆生活保護扶助費など
828万円追加
生活保護世帯の増加や
医療費扶助が増加したた
め増額。

◆隠岐病院医療機器購入
のための負担金を
1781万円増額
隠岐病院の医療用機器
を購入のため、隠岐広域
連合負担金を増額。

◆感染症予防事業に
860万円追加
新型コロナウイルス予
防疫種の優先接種対象者
約1400名を見込み、
経費の全額を助成するた
めの増額。
(※優先接種対象者とは、医
療従事者・妊婦・小中学生・
高齢者など)

◆観光施設管理事業に
725万円増額
あいランドパークテニ
スコート人工芝張替えの
ための増額。

◆災害対策事業に
685万円増額
国に緊急事態が発生し
た時に、国が国民に情報
提供するため、役場にシ
ステムを整備するための
増額。尚、国からの情報
は、直接、役場の受信機
を通して戸別受信機で町
民に情報提供される。



12月定例会は12月11日に開会され、提案された全議案を可決・承認し、21日閉会した。主な議案は、7900万円余の補正予算のほか、条例改正、物品購入契約、工事請負変更契約、財産処分、指定管理者の指定及び隠岐の島町教育委員会委員の任命同意案件等であった。一般会計補正予算には2名の議員が反対し八尾川観光遊覧船購入の物品購入契約に2名、隠岐島油槽所(油タンク)の石油タンクローリー購入変更契約にも1名が反対した。

総務産業建設常任委員会では、隠岐島油槽所(油タンク)の石油タンクローリー購入変更契約に関して執行部と常任委員会間で議論が噛み合わず議会最終日まで混乱した。また、教育民生常任委員会でも、隠岐の島町総合体育館の指定管理に関して教育委員会部局と町教育文化振興財団間でも調整に手間取った。いずれにしても、議案を提案する町執行部はしっかりと実態を把握して議案を提案すべきである。

総括質疑

予算や条例などに対する質問

質問した議員

- ・高宮陽一・石田茂春
- ・安部和子・是津輝和
- ・小野昌士・前田芳樹
- ・斎藤幸広

道路の維持管理 事業費は？

高宮議員 町内には改良補修をすべき道路は沢山ある。道路は住民生活(医療・防災・交通安全対策など)に直結しており積極的に対応すべきと思うが考えは。

建設課長 道路の危険箇所は相当あるが予算確保が難しい。地元からの要望には、県や警察など関係機関で現地調査し、緊急度の高い箇所から整備している。

消防施設の維持管理 事業費は？

高宮議員 交付金で消火栓格納庫の保全・改修が行われた。破れたり使えなくなった消防ホースの整備や管理はどのような考えか。

総務課長 消火栓の新設時に2本配置し、その後は各地区にお願いしている。



消防設備の充実を

高宮議員 いくら格納庫を補修しても、中に入っている消防ホースが破れて使えなくては「仏つくって魂入れず」である。今回のような臨時交付金があった時にこそ整備すべきではなかったか。この際、全体を調査して消火栓の機能が十分に発揮出来るよう対策を講じるべきと思うがどうか。

総務課長 町内には770カ所の消火栓があるが地区間のバランスを考慮する必要がある。

保留している 地方交付税の用途は？

高宮議員 副町長は今回の補正予算の説明で「交付税が現時点で約1億7000万円保留出来ており喜ばしいことだ。」と評価しているが、私は腹立たしい思いがした。確かに、財政を担当する者として役場の財布が潤うことは喜ばしいかも知れないが、一方で地域経済はめっきり冷え込み、地域住民の財布の中身は大変である。こういう時こそ行政として積極的に経済対策や住民生活向上のための対応をすべきである。借金返済のための保留ではないと思うが、その使途はどうか。

企画財政課長 特に決めている。当初予算で基金を取り崩しているのだから出来れば基金の確保に努めたい。しかし、政府の第2次補正予算で追加経済対策が盛り込まれる予定であり、この事業の財源の一部とすることも必



要と考えている。

小野議員 交付税は標準的な行政事務が出来るように国がその財源を保障するものだ。例年、留保財源として残り、積立金等に積み上げるような使い方は好ましくない。厳しい町内の経済状況を考えれば、持続可能な町を作るためにも今一番大切な時期である。雇用対策や人材育成等に交付税を使うべきと思うが。

企画財政課長 財政の健全化も安定した行政運営を行う上で大切と考えている。厳しい町内の経済状況も理解出来るので国県の施策等も含めて総合的に使い方を検討する。

小野議員 町に元気がなくなっている。町営で「元氣塾」をつくり若者を元氣にする等、町独自の財源をもつと使うよう希望する。



スクールバスも利用するバス停

主な条例改正

□公営住宅管理条例の改正は、五箇地区の重梱団地の住宅が老朽化したため廃止するもの。

□隠岐広域連合規約の一部変更は、現在、隠岐広域連合が処理している農業災害補償法に基づく農業共済事業に関する事務を、経営基盤の強化を図ることを目的として、島根県東部農業共済組合と事業を統合するもの。

□学校給食センター設置及び管理条例の改正は、学校再編により、平成22年4月1日から都万学校給食センターと布施学校給食センターを廃止するもの。



廃止施設の有効利用は

工事請負変更契約

■道路改良工事（隠岐病院前）

・変更理由 2カ年で行う予定だったが、予算の確保が出来たため、追加工事をして年度内で完了する。

・変更金額 1200万円増額。

■油井漁港防波堤工事

・変更理由 単年度で完了させるため、消波ブロック17個の製作据付を追加する。

・変更金額 733万円増額。

■蛸木漁港沖防波堤工事

・変更理由 単年度で完了させるため、被覆ブロック45個の製作据付を追加する。

・変更金額 567万円増額。



進む下水道工事

■公共下水道（下西ポンプ場電気・機械設備）工事（下西地内）工事

・変更理由 一部工事の取り止めと工事期間を延長する必要があるため契約金額の変更と工期の変更をする。

・変更金額 332万円減額。

・竣工を3月10日から3月26日に変更。

■公共下水道（下西ポンプ場電気・機械設備）工事

・変更理由 ポンプ場への送水設備は、汚水量の増加に合わせて増設する予定だったが、今回設置する必要があるため1台分増設する。

・変更金額 54万3000円増額。

■隠岐島油槽所油槽設備 建設工事

・変更理由 タンクローリー積込み作業時の安全対策や監視所の設置、オイルフェンス設備を追加する。

・変更金額 781万円増額。

物品購入契約

◆スクールバス購入

・契約業者 松江市三菱ふそうトラック・バス(株)中国ふそう松江支店

・契約金額 1697万円

・契約物品 スクールバス(23人乗) 1台

(29人乗) 1台



新しく導入したスクールバス

指定管理者の 指定

◇町総合体育館
・団体名 町教育文化振興財団

◇町斎場「愁霊苑」
・団体名 隠岐農業協同組合

◇町牧野施設 指定

・団体名 町牧野管理組合

※各施設の指定期間は、いずれも平成22年4月1日から平成27年3月31日までです。

財産処分

◇処分する財産

・蛸木地内の山林
・3筆 8869㎡

◇売却の相手方

・蛸木生産森林組合
理事長 石田茂春

委員の任命

・委員名 秋庭ゆみ子氏(原田)

・任期 平成22年1月1日～平成25年12月31日まで
の4年間。

隠岐の島町教育委員会

一般質問

9人の議員が松田町政をたずねる

質問した議員

- ・平田文夫・安部和子
- ・安部大助・高宮陽一
- ・斎藤昭一・斎藤幸広
- ・是津輝和・前田芳樹
- ・福田 晃



平田文夫議員

◎学校教育は ◎まちと教育の 関わりは



学校教育の充実を!

◎学校教育は 学力調査の結果は全教科すべて最下位ではないが、仰せのとおり低位であることは間違いなく重く受け止めている。議員 教育長は教育の「プロ」か。教育長 「プロ」でなくてはならないと思う。議員 「プロ」には、おのずと結果責任が求められると思うがどうか。教育長 色々な捉え方があるが、今後も学校教育の中で教育委員会の責任を全うする。

◎まちと教育の関わりは 議員 今年の島の学力調査の結果は散々の結果であった。住民の皆さんに信頼されない町は、町の繁栄につながらない。速やかに教育委員会の組織改革に取り組むべきと思うがどうか。町長 学力調査の結果を真摯に受け止め、これを契機に教育委員会はもとより、わたし自ら先頭に立ち、学校・地域が一体となって教育の振興に取り組む。

塩の浜健康広場の トイレ維持管理費は?



公衆トイレの維持管理は?

安部和議員 塩の浜のトイレ維持管理費が計上されているが全町の状況は、観光商工課長 適切に管理されている。安部和議員 公衆トイレの浄化槽連結費用負担の考えは。環境課長 全て町の負担とする。安部和議員 福浦のバス停のトイレは浄化槽にながれていないが。観光商工課長 設置場所が県有地であり現行では難しい。

ジオパーク推進 事業費は?

是津議員 隠岐地区が日本ジオパークへ登録されたが、今後はジオ資源の保全及び積極的な活用が重要だ。例えば、五箇の福浦トンネルも重要な資源の一つだが十分には活用されていない。隠岐ジオパーク推進協議会及び教育委員会の今後の活動と取り組みは。教委 生涯学習課長 2年後の世界ジオパークへの登録を目指して、①資料作成、情報の収集整理②研修会、住民啓発、③広報、受け入れ態勢の整備(ホームページ作成、ガイド養成、看板、マップ制作等)、④「隠岐エコツーリズムガイド協会」の設立、⑤小中学校や公民館で学習会等に取り組む。是津議員 全町民が認識と理解を深め、協力する体制整備が必要だ。小中学校での取り組み強化やプロジェクトチームによる



世界ジオパーク登録をめざして

事業展開をすべきではないか。

教委 生涯学習課長 公民館活動や広報、ホームページ等で広く町民に啓発する。学校との連携を充実し、庁内プロジェクトの立ち上げは検討する。

保育所費の内訳は?

前田議員 補正後の保育所費7億1682万円が私立と公立の区分で幾らか。全保育所の個別配分額・児童数・正規と臨時の区別で職員数は。福祉課長 私立保育所分は3億8242万円、公立保育所分は3億3440万円である。児童数は

私立329人、公立230人であり、職員数は、私立の正規職員は49人、臨時職員は54人、公立の正規職員は41人、臨時職員は12人となっている。前田議員 民営化一辺倒ではないか。不安定雇用である臨時職員雇用は極力減らすべきで、保育士資格者は多数いるが、正規職員になれず困っている。自治体は安定雇用機会の創出に努め、私立保育所に対して正規職員を雇用する等、指導が必要ではないか。福祉課長 非常に困難なことだが、話はしていきたい。



専門職の充実を!

副町長 私のチェックが足りなかった。もう一度しっかり基準を定め、前倒ししても取り組む。

防犯灯設置管理費は?



斉藤幸議員 西郷地区には防犯灯の設置管理費を地元負担している地域が多くある。合併時からの懸案事項である抜本的見直し・不公平感の解消はいつ出来るか。企画財政課長 18年度に基本的な考え方を定めたが、新年度にもっと具体的な基準をつくり、平成23年度から取り組む。斉藤幸議員 どういう基準で見直し地区を選んだか。遅れている要因は。企画財政課長 負担の大きい地区から見直したが遅れている要因は把握出来ていない。

八尾川観光遊覧船 事業費は?



観光の目玉となるか

町長 若い方々からの提案があつてこまできた。観光振興に繋がるよう慎重に取り組みたい。観光協会も自立できるよう自ら運営出来るようにならないと考えると十分協議したい。



安部和子議員

◎町づくりの推進は

事業確保にも取組む考えもある。

議員 財政運営見直しのあまり魅力ある地域づくりを忘れてはならない。広域連合事務局が都万地域へ移転され活気が生まれている、布施・中村・五箇地域についてはどう考えているか。

町長 機能が西郷に集中するのではなく、旧四ヶ

町村が賑わいをもてるよう、例えば、教育委員会機能は五箇地域へ、布施には高齢者がゆったり集う機能のまちづくりなど、各地域が元気で生活できる環境を望んでいる。

議員 町長仰せのように「すぐやる・今やる・わしがる」まさしくその気持が人づくりの基本だ。その想いを職場全体の想いとして欲しい。

町長 町執行部も町民も議員もこれを「隠岐人づくり」のキーワードとしていきたい。その資源を支えるのは「教育」だ。



あたたか味を感じる地域づくりを

◎介護福祉対策は

議員 隠岐の島町は、今後、高齢者が増加する傾向にある。高齢者を支えていく上で、町としては特段の対策を考えているか。また、高齢化が進み要介護者数の増加が見込まれる中、一人暮らしのお年寄りや老々介護をされている方、施設の待機者に対して現在どう対処し今後どう取り組んでいくか。

町長 介護予防に地域全体で取組むことを促進し、要介護者数の発生率や重度化を抑制するなど、高齢者の生活の安定に必要な援助及び支援を行っていく。独居老人に対しては、民生児童委員等と連携して環境整備に努め、生活面でも、健康教室や介護予防教室などへの参加を促し、元気老人で生



安部大助議員

◎高齢者の介護 福祉対策は ◎U・Iターン若者の 受入れ対策は



在宅ケアの充実を

活できるような対策を考えていく。老々介護をされている方々には精神的な負担軽減のため介護交流会を開催しており、今後は老々介護の現状把握に努める。最後に待機者への対処は、他の施設を利用したり短期入所を利用しながら空床を待つており、施設整備の必要性を認識している。

議員 要介護者の方々に

共通しているのは身体介護の負担軽減であり、施設ケアから在宅ケアへ移行することが必要だと思うがどうか。

町長 施設の数も限度があるため在宅ケアを重視しており、今後も対策を検討していく。

◎U・Iターン者の受入れ 議員 最近、若者たちが自分のやりたいことを実現できる地域を求める動きが見られる。そのため、多くの自治体では独自のU・Iターン者の受入れ態勢づくりを進めているが、本町は、今後どう取組んでいくか。

町長 本年度は、学生等移住プロジェクト事業を行い、島の学生達に自然や文化に触れてもらいこの活動が隠岐のPRなど、様々な効果をもたらした。今後、若者たちのネットワークが更に若者を呼び込み、定住に繋がればと期待している。また、島の大学と包括連携に関する協定を進めていく。



高宮陽一議員

◎隠岐の「牛突き」に 支援を

じめとする隠岐の牛突き習俗を国の重要無形民俗文化財として指定を受けるよう行政がリーダーシップを取るべきと思うが町長の考えは。

教育長 申請のよう願っているものではなく、それに値する文化財として評価を受ける必要がある。国の判断基準による。

議員 国が云々ではない。まず地方が動いて、国県を動かすことではないか。積極的に取り組む考えがあるか無いか。

教育長 積極的に取組む。議員 現在、約70頭の突き牛が飼育されているが、昔のように農耕用ではなく牛突き用として飼育しており、隠岐の牛突きは関係者の熱意や理解協力、そして経済的犠牲の上に成り立っている。

隠岐の牛突き習俗を観光資源として活用してい



国の文化財指定へ

◎学童・少年へ 暖かい応援を！ 議員 スポーツや文化活動などで、県・中国・全国大会と島内の子供たちが懸命に挑戦し、それなりの結果を出している。このような大会で好成績をあげた子には教育長の「おほめの言葉」、町の広報にはコメントと写真掲載、更に、町長は勉強も頑張るよう学用品などを贈呈してその功績を称えたらと考える。

また、五箇の少年野球チームが活躍、西小児童が相撲中国ブロックでの優勝など、この子らにとっては一生の輝かしい記録として大きな誇りを持ち、将来に羽ばたける素地を得た。このような個々に活動している児童への対応をどうするのか。スパルタ教育でなく「子供は褒めて育てよ。」とい



斎藤昭一議員

◎学童・少年へ 暖かい応援を ◎景観スポットの設定を ◎世界ジオパーク登録は



羽ばたけ 隠岐の子どもたち

うことから、教育委員会や町は補助制度・報奨制度のシステムづくりが必要と思うが。

教育長 報奨・奨励制度はないが、積極的に検討する。

◎景観スポットの設定を 議員 松江城下町は市の景観条例で規制され管理保存されている。隠岐の島は市街地ではなく、自然美がある。これを保存し、活用できる事は町にとって大きな財産である。

美しい景色を見たくて来島されるのに、車から見えるのは雑木の山ばかりだとの苦情が多いといわれている。突然に目の前が開け、山や島や海が調和よく並べられた自然が飛び込んできたら驚きと感動に包まれるはずだ。額縁に囲まれた「絵画」のようで島の誇れる一つだ。景観のポイント「ビュー・スポット」として整えたらと考える。そうしなければ何時までも貧乏な観光業が続くと思われる。町の環境保全条例を基に景観自然美づくりとして強化せよ。

町長 条例及び規則の対応につき早急に審議・検討する。

◎世界ジオパーク 登録に向けて 議員 隠岐島は日本ジオパークに認定された。世界ジオ認定に向け、その準備期間はわずか1年少々しかないが、どのような対応を考えているか。

教育長 登録申請には中・長期的な活動計画の策定を認識している。



齋藤幸広議員

◎早急に肝炎対策を 活性化対策を

◎早急に肝炎対策を
議員 平成15年度から5年間、基本健診の中で肝炎ウイルス検査を行ったが、受診者数は691人（対象者数7896人、受診率9%弱）だった。①この事業をどう評価したか。②20年度以降、何らかの対策がなされたか。③町として取り組むべきことは。

町長 ①町の健診時の検査及び事業所での検診などを総合的に推進する事業だった。この受診者数は事業所での検査などによる受診者を除いたものであり実際にはもっと多いと思う。②未受診者には医療機関・保健所で検査出来る体制を取ってきた。③肝炎ウイルスに感染していることを知らないままに慢性肝炎が進行し、肝硬変・肝がんへ移行し命を落とすことがない。

◎島の経済活性化対策を
町長 検査を受けることが大事だということを、地域に出て保健師などが啓発活動に取り組み方向で早急に内部調整する必要がある。

◎島の経済活性化対策を
議員 新型インフルエンザ対策として秋以降の催し物が中止されてきた。資料によると、この流行は保育所・学校が中心で

あり、学校閉鎖などの対策で十分ではなかったか。これらの中止により島の経済は大きな打撃を受けたが、その対策は。

町長 イベント中止が無駄だったとは考えていない。それが11月の小康状態に繋がった。経済対策は、国の第二次補正予算、既存の事業を利用し島内経済活性化に繋げたい。議員 商工会が商品券を発行し、来年度はより大規模なものを考えているようだが、町の対応は。

町長 町の追加経済対策という観点から実施する方向で協議している。



まちの活性化対策を

議員 合併の際に策定された「新町建設計画事業計画書」には、五箇小学校改築が「校舎建築2300㎡、体育館900㎡、グラウンド整備4700㎡と校舎解体」、つまり新築の計画である。五箇小学校改築は、五箇地区の喫緊の重要課題であり、木造新築の結論が出ていた。当時、村長であった教育長は、そのことを承知の

はず、五箇地区民の合意を無視して何故、改修に変更したのか。
教育長 60mの廊下のある貴重な木造校舎を残したい思いから改修を考えた。19年度に五箇地区の教育懇談会で移転改築の話も出たが、財政状況も考慮して決定した。議員 その廊下を残しただけでは、到底、納得出来る訳がない。子供たちの教育のための学校整備をどうするかは「百年の大計」だ。そんな軽い理由で大変大事な学校整備を変更すべきではない。貴方は五箇村長だったのだから、立場は変わっても五箇地区民との合意を覆すことには丁寧な説明や意見調整と合意を得る努力が必要であり、民意に諮る必要があるが



是津輝和議員

◎五箇小学校の整備は

出郷者の方々をはじめ、広く協力をお願いする予定である。
①担当部署は隠岐広域連合とする。②目標額は、経済が疲弊している社会情勢下で如何かと思うが広域連合で検討する。③各地の隠岐人会等に協力依頼を考えている。④広域連合や町の広報誌を利用して周知を図る。



大規模改修予定の五箇小学校

それを行っていないから私は「けしからん」と言っている。また、新築から大規模改修への背景に財政からの圧力があり、それに押し切られたとしたならば、教育行政のトップとしての力量を大変懸念せざるを得ないと思うがどうか。
教育長 教育環境の整備は当然必要である。教育行政をあずかる者として五箇小学校建設については町長部局との協議もしてきた結果であり、ご理解いただきたい。



前田芳樹議員

◎農業公社と 農地保全体制は 五箇小学校の整備は

◎農業公社と農地保全は
議員 島全域の耕作放棄地面積は111ha、その内、圃場整備水田は西郷55ha、都万5ha、五箇3ha、合計63haで今後も増大する。

農業公社理事會が公益性のある生産法人でなければ放棄地対策は不可能で、現在の職員の雇用確保が必要だと返答をしている。都万五箇地区の水田所有者の多くが現状の形態での農業公社の存続を望んでいるのに、一部特定の者だけで密室の中で強引に解体してしまおうとするのは行政の驕りであり、施政の方向性としては間違いだ。青写真を示して地区民への説明会を開くべきではないか。

町長 農業関係者への説明機会は設ける。現在、公社の特定理事が検討を行っている最中だ。



農地保全はいかに

議員 来年4月1日からと公社に伝えているが、青写真が出来ているか。町長 青写真は今のところは出来ていない。議員 町が言う組織改編では残す公社の2人以外の7人は解雇することのこと。雇用機会の創出が最近の大きな政治課題であり、町をあげて取組むと公言しているのに、解雇は一体どうしたことか。放棄地解消・農地保全管理と表裏一体の解雇は慎むべきではないか。

◎五箇小学校の整備は
議員 五箇小学校改築は、なぜ事業変更か。五箇地区住民全体の総意で決定するべきではないか。
教育長 保護者会・区長会・五箇地域協議会で説明し、理解を得た。議員 なぜ文化財でも無いのに耐震化で4億円以上もの巨費を賭けるのか。改築12億円と聞くが、悲鳴を上げている木材業界を下支えしたり凋落する島内経済の建て直しを視野に入れて検討し直すべきではないか。

教育長 リニューアルで島内産木材を使う。



福田 晃議員

◎新築病院の 募金活動は 消防本部の整備は



工事が進む進入路

◎新築病院の募金活動は
議員 町村合併協議会で隠岐病院新築を新町建設計画の第一に掲げた。隠岐広域連合では平成22年6月には実施設計を完了して工事に着工し平成24年春には開設予定である。町長は、出郷者の会合等で、県・町の財政事情の厳しさを訴えながら寄付のお願いをし、温かい力強い応援の言葉を頂いていると言われていたが病院開設2年前になっても募金活動の具体案が見えないが、どうする考えか。①担当する部署はどこか、②目標額は掲げるのか、③出郷者への周知方法は、④町民への周知と活動の方法は。

町長 募金活動は、6月ごろの設計内容が確定した時点で趣意書等を整える。

◎消防本部の整備は
議員 隠岐島消防本部は築後36年が経過し、老朽化も進み、更に手狭となつて使い勝手も悪くなり早急な対応が必要である。広域連合を組織する県や隠岐4町村も厳しい財政状況であるのは理解できるものの、隠岐の島町として移転新築等を踏まえ、広域連合に提案する考えはあるか。
町長 平成22年度からの広域計画を策定するための前段として、消防体制検討会を立ち上げ検討している。安心・安全の町づくりを進める上で、消防体制の充実が重要であり、事業の必要性は認識しているが、消防本部庁舎整備と無線デジタル化の事業費は13億円を超える多額の費用が見込まれるため、構成町村の厳しい財政状況を考え、中長期の財政分析を行い財政破綻をまねかない範囲で決断する。

総務産業建設常任委員会

審査の状況

石田 茂春

議論が白熱！

タンクローリー購入契約変更

◆議案関係の審査

補正予算と物品購入の変更契約に一部の委員から反対もあったが、賛成多数で「可決すべし」とした。

・隠岐島油槽所整備関連のタンクローリー購入契約の変更は、タンクローリーの航送料が不要となったための減額である。物品価格と航送料が一体となっていた契約であり、物品購入契約と航送料は分けるべきとの意見もあり、議論が白熱した。今後、しっかりとした物品購入の基準をつくるよう指摘をし、一部の反対



これで安心 油の供給

◇調査研究事項◇

・各種税金の滞納対策のため徴税吏員を対象とした研修会を実施しているが、平日とか勤務時間帯などの関係で参加者は極めて少なかったと報告があった。

・今後は、勤務時間帯なども考慮し、多くの徴税吏員が研修を受け、高額滞納者への徴収体制を強化するよう指摘した。

（※全滞納者に占める高額滞納者の割合は21%、金額は1億9900万円となっている。）

・事務事業の評価は外部からも評価委員を入れるよう指摘し、行財政改革大綱の策定は、事前に議会にも説明するよう要望した。

・農業公社は、公社組織の再編に全力で取り組むよう指摘した。

・定住奨励資金は、現在11名が申し込んでいるが、新年度からは多くの方が受けられるよう対策を講じる必要がある。

行政視察研修

平成21年10月2日～4日

■鳥取県八頭町
■島根県大田市

■鳥取県八頭町

八頭町は、平成17年3月に郡家町、船岡町、八束町の3町が合併して役場の体制を庁舎方式から総合支所方式に変更した経緯を視察した。

新町の本庁舎を郡家町役場とし、船岡町、八束町役場は住民サービスが低下することがないよう総合支所とした。役場の収容能力等を勘案し、議会、教育委員会、農業委員会などの機関を分散している。

役場としての問題点は①各庁舎によってサービス、対応に違いが生じること。②職員の移動に時間と経費がかかる。③意思統一が出来ない。また情報などの共有が難しい。④事務分掌が不明確であり、責任の所在もあいまいである。



熱心な行政視察

大田市観光協会では、観光振興の課題と対策を視察。

世界遺産の石見銀山遺跡は観光客が減少しているため、課題を明確にしながら対応を検討している。

課題は、①受け入れ体制や遺産の適切な保存・管理、②関連する文化財の収集・展示、③宿泊・飲食の促進などがある。

更には、今までに多数の観光客を受け入れた経験に乏しく、地域住民との共生、防犯上の課題、廃屋の対策などである。

また、新たな建物をつくらねいため、古民家を改修して店舗を増やしたり、見て・触れて・感じてもらおう回遊ルートや施設を整備していく。

今後は、観光客が宿泊してもらう工夫・仕組みが必要で、付加価値の高い宿泊施設や地元の新鮮な食材を使った地域性のある食事を提供する必要がある。

◇調査研究事項◇

ゆれる公民館体制

・隠岐の島町教育委員会では、平成20年12月以来、公民館のあり方を整理出来ないうまとなつていて、この発端は、現在、役場の課長職が公民館長として配置されているが、

町が行財政改革によつてこの公民館長を減員するために中央公民館体制に移行しようとしたものである。

その考え方は、旧町村単位にある公民館の館長を役場に引き揚げ、西郷公民館長がそれぞれの公民館長を兼務する方法である。今日までの教育委員会の説明は、「体制づくり」が先行し、それぞれの公民館は何をするのか、その考えは明確でなく、

「今後、検討する。」との答弁であり、町民のための公民館のあり方は、あと追いとなっている。生涯学習・交流の場と



社会教育体制の充実を

■八百杉の大枝が落下！
12月11日の大雨により、玉若神社の八百杉の大枝が腐朽に加え当日の雨粒の重みに耐えられず落下し、その際、5mほどの枝も破損し落下した。教育委員会は、さっそく文化庁に報告するとともに、今後、樹木医と協議すること。



落下した大枝！

教育民生常任委員会

審査の状況

安部 和子

教育委員会と教育文化振興財団

信頼関係の再構築を！

◆議案関係の審査

補正予算関係は、それぞれの事業実績や事業見込みによる補正予算であり、特に指摘事項もなく全会一致で「可決すべし」とした。

・学校給食センターの条例改正は、布施小中学校の閉校によるもの、また都万学校給食センターは西郷学校給食センターから配送が可能になったこと、及び施設設備の老朽化に伴い衛生管理の徹底が困難となったことから平成22年4月1日より、それぞれの施設を廃止す

るもので、全会一致で「可決すべし」とした。

・隠岐の島町総合体育館の指定管理者の指定は、1団体の応募しかなく、当該団体の適正な管理が見込まれることから、全会一致で「可決すべし」とした。

しかし、教育委員会が検討している中央公民館制度に端を発し、教育文化振興財団との協議が混乱、今日まで関係者の皆さんや関係機関に多大なる迷惑や不安を与えたことは誠に遺憾であり、当事者である教育長は勿論のこと、議案提案者であ



安全運行を

・スクールバスの購入契約は、北小学校、並びに西郷南中学校への通学用スクールバスの購入で、冬季の雪道で、より安全な運行を考慮し4輪駆動にしたため、関係業者が1社となったが、安全運行を考慮したもの。

特別委員会報告

医療対策特別委員会

委員長

吉田 政司

歯科診療体制の見解を示す

委員会では、3月議会で「22年度から歯科医師2名体制を1名にすることを」を提言した。これに対し、9月に執行部から医師1・2名体制にする旨の報告があった。1・2名体制とは、都万歯科と五箇歯科を1名で診療し、中村歯科診療所は週1回他の診療機関で対応するものである。

報告によると、現状の患者数の推計上からは1名で可能としながらも、踏み切れない要因として①1人で3箇所診ること②健診等の業務、③医師の負担増などの問題点を挙げている。



今後の診療体制は



一度見直すことを求め見解とした。
10月21日には、隠岐病院の武田院長を講師にお願いし、地域医療のあり方、病院の目指す方向について勉強会を開催した。食の大切さ、予防医療の実践、経営健全化の取組みと必要性、医師招聘の対応、患者の視点からの病院整備等、具体的に伺った。

意見交換では、診療所のあり方について医師1名増員する方向を出している委員会と、今の人員で十分だとする院長の考え方は全く相反することになった。委員会としては、一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯が益々増える今後を見据える中で、地域住民の健康づくりや訪問看護、終末医療を含む在宅医療の推進のためには医師4名体制とすべきとした委員会の提言を改めて確認した。

総合交通対策特別委員会

委員長

斎藤 昭一

生活交通整備促進に関する事項

現行の路線バス、乗合タクシー、町営バス、スクールバスを効率よく組み合わせ、交通網整備を確立し、弱者の足をしっかりと確保しなければならぬと考え、積極的に取り組むことを委員会で確認した。



変わる交通体制



生活バス路線に役

◇路線バス関係

考え方の基本は、隠岐病院に通う利用者が一番多いため、隠岐病院を路線バスの発着点とする。路線バスは現在の9路線を4路線とする考えである。

隠岐高校、隠岐水産高校、西郷港経由路線、役場本庁への路線も考慮に入れるよう進言。

◇デマンドバス関係

指定タクシー業者やスクールバスにより、幹線

路線まで運行する。前日の予約制とし、予約がなければ運休する。

◇診療所巡回バス関係

スクールバスの空き時間を利用し、都万、五箇中村、布施地区の運行を検討する。今後のスケジュールとしては利用者へのアンケート、地元との意見交換、経費の見積もり等を実施し、3月には結論を出したいとの説明を受けた。

行財政改革特別委員会

委員長

平田 文夫

委員会の取組み方針は補助金・負担金の検証に重点を置き、その投資効果について検討することとした。

◇行財政改革関係

執行部から第2次行財政改革大綱の策定状況の報告を受けた。その概要は、公募委員2名を含めた10名の行財政改革推進審議会を設置し、6月17日に審議会に諮問したとのこと。また、平成20年度の事務事業評価の実施結果についての中間報告を受けた。

◇隠岐の島町観光協会への補助金関係

観光を基軸とした町づくりを進めている隠岐の島町にとっては、観光協

◇海士町の産業振興と観光協会視察

海士町は単独町制を選択して以来、行政へのあまの体質からの脱却と生き残るための攻めの長期戦略をたてた。

そのために、「現場第一主義」に徹した体制づくりを行い、実行部隊となる「交流促進課」「地産地商課」「産業創出課」の3課を、町の玄関の「キンニヤモニヤセンター」に設置し、二ノズを肌で感じる場として各種事業を展開している。



熱心に意見交換

生産者を中心とした観光振興に取り組んでおりこれらにかかわる人材として「若者・馬鹿者・よそ者が島おこしの原動力である」との言葉は印象的だった。

町観光協会の運営の基本方針は、①窓口重視、②受け皿の拡大として取り組み、「利益の循環を目指すこと」「新しい取り組みへの挑戦」とのことである。

隠岐広域連合議会報告

是津 輝和

隠岐広域連合臨時会が11月27日開催され、陳情以外の議案については全会一致で可決した。

平成20年度各会計の決算は、決算審査特別委員長から、「介護保険料滞納金、隠岐病院・島前病院の医療費未集金、仁万の里の未集金の徴収及び防止対策に一層の努力を求めた上で各決算は認定する。」との報告があった。

条例改正は、住宅手当の廃止や期末勤勉手当を0・35カ月、月例給を0・2%引き下げるもの。平成21年度補正予算の主なもの、給与カット率を2%引き下げる変更に伴う人件費の増、レインボープラザの空調修理及びインターネット配線工事費の増などである。

島前病院会計では、隠岐病院からの精神科医師派遣負担金の減、薬剤師や看護師が採用出来な

ったための減、院外薬局開局が1カ月遅れたための薬品費の増、エアコン修繕費の増などである。

隠岐病院会計では、新病院の実施設設計が平成22年6月まで伸びることによる債務負担行為の補正、消防事業会計では、高規格救急車の寄贈及び知夫出張所のポンプ車更新の清算による減額。

知的障害者施設事業では、給食材料費の高騰、利用者増による給食費の

増額、新型インフルエンザ対策消耗品費の増及び障害者自立支援法改正に伴う報酬5%引き上げに伴う構成団体負担金の減額などである。

陳情案件は、(株)あいらんど代表取締役 斎藤博氏からの「レインボープラザ（妊産婦長期滞在用部屋）支援に関する要望書」並びに島根県電気工事事業協会会長 荒木恭司氏からの「公共工事における電気設備工事の分離発注に関する陳情書」であり、所管の総務医療常任委員会に付託された。



寄贈された高規格救急車

隠岐の島町の施策課題に対応するための決議

隠岐の島町の重要施策を推進するため次の4項目を議員提案し、全会一致で決議した。

1. 納税意識の高揚を図るとともに滞納徴収業務を強化すること
2. 地場産業及び観光産業の振興と雇用創出策の推進を図ること
3. 保健・医療・福祉の連携、充実強化を図ること
4. 学力向上、教育行政の充実強化を図ること

継続審査

■公共工事における電気設備工事の分離発注と当協会会員及び県内業者に受注の機会をお願いする陳情

・提出者 松江市
社団法人島根県電気工事業協会
会長 荒木恭司氏

■県の福祉医療費助成制度の定率(応益)負担を廃止・撤回し定額負担に戻すことを求める意見書採択の陳情

・提出者 松江市
島根県社会保険推進協議会会長 池淵栄助氏

■隠岐温泉GOKA運営存続に関する陳情書

・提出者 五箇地区長会会長
田中井敏勝氏外4名

皆さんの 請願・陳情など

趣旨採択

■改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出を求める件

・提出者 松江市
島根県弁護士会
会長 大野俊之氏



存続が危ぶまれる温泉施設

編集後記

昨年は、町村合併五周年記念として各種行事が計画されたが、新型コロナウイルスインフルエンザの感染拡大防止に振り回さ

れた気がする。まだ沈静化はしていないが気をつけ、健康であんきに暮らしたい。
心も新たに、「議会だより」の編集に頑張りたいと思う。今年もよろしく願います。

隠岐の島町の将来像

まるい輪の中 心行き交う、やすらぎのまち

～みんなの手による新しいまちづくり～